

HARLEM

07

SPIT'EM OUT! "It's absolutely RAW"

-This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...-

CONTENTS OF JULY 2001

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|----------------------------|---|
| SPECIAL INTERVIEW "DJ TAIKI" page 01 | EVENTS SCHEDULE - July to August 2001 page 02 | RECOMMENDED EVENTS - Event Information page 03 | EVENT REPORT - 01 - '01.05.29 Lucky Strike Presents Red Zone Special - '01.05.31 Wise Up! page 04 | ROCK THE CITY - Analyze This Edited by Yas 5 (U.B.G.) EVENT REPORT - 02 - '01.06.07 Platinum Jam -Dancehall Extravaganza- - '01.06.16 No Doubt Special "PLATINUM TONGE" RELEASE PARTY - '01.06.21 Dachs Hund Cafe Special page 05 | DISCS FILE - Selected by HomeBass Records SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI - Maki the Magic MINAMIDAI TSU-SHIN - Minamidai page 06 | MO' INFO page 07 | LOOKIN' FOR DA "REAL SH#%T !!!" THE SIGN OF PROOF - Takeshi Hasegawa page 08 |
|---|--|---|--|---|--|----------------------------|---|

Special Interview DJ TAIKI

1年半ぶりの本誌巻頭登場、ご存知NO DOUBTのレジデントDJ TAIKI。変動するJAPANESE HIP HOPシーンを自らの視点で捕らえ、直接肌で感じたリアルな意見を語ってくれた。シーンと共に歩んで来た者にしか分からない、現場の声を聞いて下さい。

●ここ数年のHIP HOPシーンのマーケットの拡大に伴いTAIKIさんが感じるメリットデメリットは？

確かにマーケット自体すごく大きくなって何十倍、何百倍という規模になっていることは言えるけれども、逆に大きくなり過ぎて、今までのHIP HOPの魅力的な部分がなくなりつつある気はしないでもないね。今のように大きいマーケットになって成功した部分もあって、オーバグラウンドのシーンはどんどん大きくなっていくけど、逆にインディーズと呼ばれるものがどんどん小さくなっていく気がするんだよね。例えば大箱のクラブが成功を取って、DJやラッパーがラジオ番組を持てるようになったりして、メジャーシーンで出来る環境になったのはすごくいいと思うけど、そっちの方ばかり光が当たり過ぎちゃって、インディーズの凄く良かった所が日が当たらなくなっているような感じはしますよね。クラブに関しては凄く良くなったんじゃないかな。ただみんなが大箱の選曲や大箱の遊び方に慣れ過ぎちゃって、やる側としても考えちゃう所がいっぱいあると思うんですよ。小箱でやるのとかが、ホントはもっとUNDERGROUNDだったりインディーズだったりそういうものをかけたいDJもたくさんいると思うけど、それが結局客にウケなかったりとか。そういうものを好きな人が少なくなったせいで、そういう事が出来なくなった環境になってきているって事はあるんじゃないかな。小さい店で客が少ないのに、ハーレムのピークタイムのような選曲をしているDJが居たりとか、そういうのをたまに見たりすると、これでいいのかなーと思う事はあるね。DJ側もそうでないとお客さんに反応してもらえないからそうなんだろうけど。HIP HOPが成功して大きくなって影には寂しくなっている部分も少しあるんじゃないかなって。

●TAIKIさん自身が変化した部分や感じている事は？

前にインタビューを受けた時は結構アリアリのパーティ、ホントのパーティみたいなものを純粋にやっていけばそれはそれで凄く良くて、そういうものを根付かせる時期だったと思う。それが根付いてお客さんも純粋に騒いで遊べるようになったけど、今はそれが飽きられつつあるような。だから今は各個人個人のDJが自分はどういう所で持っていくか問題になってきて、うまくお客さんをノセながら自分のやりたい事を探っていく提供していかないと何曜日でも同じようになってしまう。でも少しずつ変わって来るし、色は出て来るんじゃないかな。最近横浜なんかは良い例で、サウス色がすごく強くなってきているという話は聞くと、それはそれで横浜でやっている人達がすごく努力してそういうものを創り上げたんだって。東京でもHIP HOPのパーティがウケてHARLEMが盛り上がったように、横浜にサウスが好きの人がいっぱい増えて盛り上がりつつあるけど、でもそうじゃない人もいっぱいいるから。東京でも横浜でも日本中どこでもそうだと思うけど、受け入れられるものとそうじゃないものは個人差があるから、DJも個性化というか個人の色がどんどん出てくるんじゃないかなって気はしますね。確かに古いものはみんな知ってるから盛り上がりやすいからポイントでかけるけど、それだけだといつ来て同じになっちゃうので、新しいものや、古いものでも今まで誰もかけていないものを家の中から掘って来たりとか、その辺の「自分の色」みたいなものを出して行きたい。新しいものでカッコイイものっていっぱいあるけど、リリースされて1ヶ月以内のものってお客さんが分からない曲が多いか

ら定着するまでに時間が掛かったりするんだけどね。●キエるマキウの営業で地方も行ったりされてますが、地方で感じる事は？

東京の人達が営業で地方に行く時は、やっぱり営業セットみたいなものを持って行ってパンパン盛り上げるような事をやっていると思う。地元の人達が普段どういうプレイをしているか聞く機会ないでしょ。普段の営業に遊びに行ければどう感じるかわかるんだけど、東京から来るDJも、イベントでお客さんが入ってるから盛り上げなきゃいけない。みたいなところでやっちゃうだろうし。実際HARLEMでDJしている人達も地方に行ったら多分選曲違うし、HARLEMでやっているような事は営業ではやらないと思うよ。まあやってくれる人もいると思うけど、その辺は盛り上げるように徹している気はするね。今のHARLEMって無理して盛り上げなくても、自分の中でちょっとハズしたつもりが、えっこれが盛り上がりだーみたいなものもあったりするから(笑)。まあそれだけ詳しい人が増えているんだろうなあっていうのもあるし。

●今のNO DOUBTは理想に近い形？

もちろん楽しめないよりは楽しめた方がいいに決まっているけれども、またちょっと次のステップに来るんじゃないかなってちょっと前から感じています。新譜だったり旧譜だったりレゲエだったりとかバランスを取りつつ、出来るだけ新譜を分かってもらいたいというのがあって、新譜で盛り上がるようになれば音楽的にもクラブ的にも未来を感じる事が出来るし、古い曲でしか盛り上がらないと未来がなくなっちゃうから、新しいものをどんどん提供していきたい。それが2、3ヶ月後にすごく盛り上がる曲になっているかも知れないし、またその後新しいものが出てきたら、またそれを提供しながらやっていきたいですね。

●理想な形のイベントとは？

今ってDJの人達もどうしたらいいのか考えてる時期なんじゃないかなって思ってる。純粋に盛り上げる事はいつでも出来るけど、どういう手法でその人がパーティを創っているのかっていうのが重要だと思うんだよね。音楽というのは、それぞれ色が出て、かつフレッシュという何か新しいもので、刺激的なものでもあるし。そういう音を提供して、それを感じ取ってもらって、楽しく遊んでもらえるようなイベントが出来ればいいと思う。新譜でもやっぱりクラブ向きの新譜とそうじゃないものがあるし、その辺はDJのセレクトにもよるんだけど、とりあえず平和なクラブー 最近めめ事は昔のクラブに比べて全然少なくなって、良くなってきたりしているけれども、酔っぱらって羽目をハズしがちなお客さんも居たりするから、出来るだけピースな感じで遊んでもらえれば、やっても良さを味わって出来るのかなっていうのもあるし。

●最近の活動は？

去年の11月にキエるマキウのアルバムが出て、それから年末年始はキエるマキウのライブでツアーを、十何カ所くらいは行っているのかな？それも落ちて、今キエるマキウの次のアルバムのレコーディングをしています。それとHARBASSでエグゼクティブプロデューサーという立場なので、直接は今のところ絡んでないんだけど、NYのDJ HIROがリーダーでプロデュースをしているR&Bの歌モノをやっています。もともとJAZZ系の女の子で、今もNYでJAZZのバンドでずっと活動してる人だから、DJ HIROのHIP HOPのテイストのビートに



JAZZのボーカルを入れて作っていくって感じ。もう一つ、今レコーディングしてるのは日本に住んでいる日本人の女の子。それは8月頃にはリリース出来るんじゃないかなって感じ。サンプリングものもあり、今風なものもあり、スローもありという感じ。機会があったらリリースが近づいた時にライブでも出来たらと思います。

●プライベートの過ごし方は？

毎日昼間はHARBASSに居るんだけどね。夜は最近出歩かなくなったかな。レコーディングが入ってくると夜しか制作する時間がないから、家帰って飯食って、一息入れて夜中から朝まで制作したりとか。そういうのを週に何日はやっていますね。丸一日休みというのはここヶ月取ってないけど、そんなに苦じゃない。全部趣味というか、DJしたりテープ作ったり、制作も昼間の仕事も全部趣味と言えば趣味だし(笑)。

●レコード選びのポイントは？

いくつかポイントがあって、例えば有名なプロデューサーだったら、このプロデューサーでこのアーティストが歌ってるんだったらこういう感じだろうなとか、これくらいは売れるものだろうな、というのは分かるので、後はフューチャリングアーティストだったりとかかな。結局話題になるのって、プロモの段階で話題になったり、NYのラジオで早くかかったりとかだから、プロモで聴いているとオーダーもしやすいし、自分でも薦めやすいし。ラジオ、プロモ、プロデューサー、フューチャリングアーティスト...あとはアルバムに入ってる曲のカップリングが出ますとか、シングルが出ますとか、そういうものもあるね。

でもね、あんまりモタモタしていると無くなっちゃうよ。アナログってそんなに沢山作ってるものじゃないし、一回売り切れちゃうともう入って来ないものも沢山あったりするから、自分の好きなアーティ

ストや、好きなプロデューサーがいたらすぐ買った方がいい。とりあえず気になるものは買っておい方がいいんじゃない？

●毎日レコード屋に通った方がいいのですか？

俺さ、今は毎日レコード屋にいるじゃん。この仕事する前は1週間に1回くらいしかレコード屋に行かなかったの。この仕事して分かったんだけど、週2回くらいレコード屋に行かないと、実は欲しいものが買えなかったりするんだよね。普通の正規盤はあるけど、プロモ盤は1日2日で無くなっちゃうから。しかも告知も何もしていないのに、そういうプロモが入った時って何かお客さんがガンガンくる。多分口コミなんだよ。そういう情報が一瞬して回って、店に珍しいプロモが入ったら一斉にお客さんが来るって感じ。1ヶ月に何回かレアなプロモが出たりするんだけど、そういうモノに関してはホントに早い。

●週にどのくらいのリリースがあるのですか？

他のレコード屋もそうだと思うけど、新譜やプロモはインディーズも含め絶えず出ている、週に2回もしくは3回入荷がある。もちろん時期によって違うけど、プロモもそのペースで入って来て、いいものがあると凄く事になるのね。たまに石川 (DJ SERGIO) がとんでもない事になるもんね。競りのオヤジみたいに(笑)。何かのプロモが入って来た時に店に50人位お客さんがいて、みんな石川の周りを囲んでるの(笑)。何のレコードだったっけなー？「30枚しか入らなかつたのでジャンケンで決めてもらえますかぁー？」って(笑)。

●NO DOUBTの楽しみ方、お客さんに一言。

もちろん新譜もいっぱいかかっているし、一晩通して聴いてもらえれば凄く色んなものがかかっているし、それぞれのDJも凝ったかけ方するし、その辺を楽しんでもらえればいいかな、と。ずっと来てくれる人達は分かってくれてる人もいっぱいいると思うんだけど、その辺のところを分かってもらえたらな、と。